

会長講演

第22回日本薬物動態学会年会

仙台 10月8日 2007

**日本薬物動態学会会長
東京大学大学院薬学系研究科**

杉山 雄一

8th International ISSX 2007

Sendai, Japan

Oct. 9-13 2007 Sendai International Center
Chair, Yasushi Yamazoe



1983



2005



**Matsushima, one of three best
Scenic place in Japan**



Mt. Zao, Volcano with Hot spring

Registrants for 8th International ISSX Meeting (国別)

1,013 participants registered for the meeting **as of Sept. 24**. This number includes **173** individuals who are students or postdoctoral members. Registered participants are from the following **34** countries:

- Afghan. 1
- Australia 11
- Austria 5
- Bahrain 1
- Belgium 1
- Canada 21
- China 15
- Czech Rep. 1
- Denmark 7
- Fiji 1
- Finland 4
- France 13
- Germany 18
- Ghana 1
- Greece 2
- Hungary 4
- India 1
- Iran 1
- Israel 5
- Italy 4
- **Japan 539**
- Netherlands 21
- New Zealand 4
- Nigeria 1
- Poland 3
- Singapore 1
- South Korea 31
- Spain 5
- Sweden 14
- Switzerland 5
- Taiwan 31
- Thailand 11
- Turkey 1
- United Kingdom 34
- USA 198
- n/a 5

第62回理事会(2005年9月29日開催)時の発言のサマリー： 学会運営に対する全理事の貢献を強く求めた発言。

- 1) これまで以上に理事の学会活動への積極的参画を望みたい
- 2) 全ての理事には、それぞれのタスクあり。
(理事就任の諾否をとる)
- 3) 近い将来においては、会長、理事ともに、立候補制に移行して
いきたい (ISSXはご存知のように立候補制度)。

“選挙で選ばれてしまったので、役割を務める。一種の名誉職”と
いった考え方は、この変動の時代には合わない

理事



池田敏彦
(三共)



乾 賢一
(京都大・医・付属病院)



岩崎一秀
(ファイザー製薬)



小田切優樹
(熊本大・大学院)



川合良成
(ノバルティスファーマ)



小林 智
(寿製薬)



須藤賢一
(第一製薬)



玉井郁巳
(東京理科大)



寺崎哲也
(東北大・大学院)



千葉 寛
(千葉大・大学院)



成松鎮雄
(岡山大・大学院)



山下伸二
(摂南大)



横井 毅
(金沢大・大学院)

監事



大野泰雄
(国立衛研)



吉村義信
(武田分析研)

会長メッセージー1

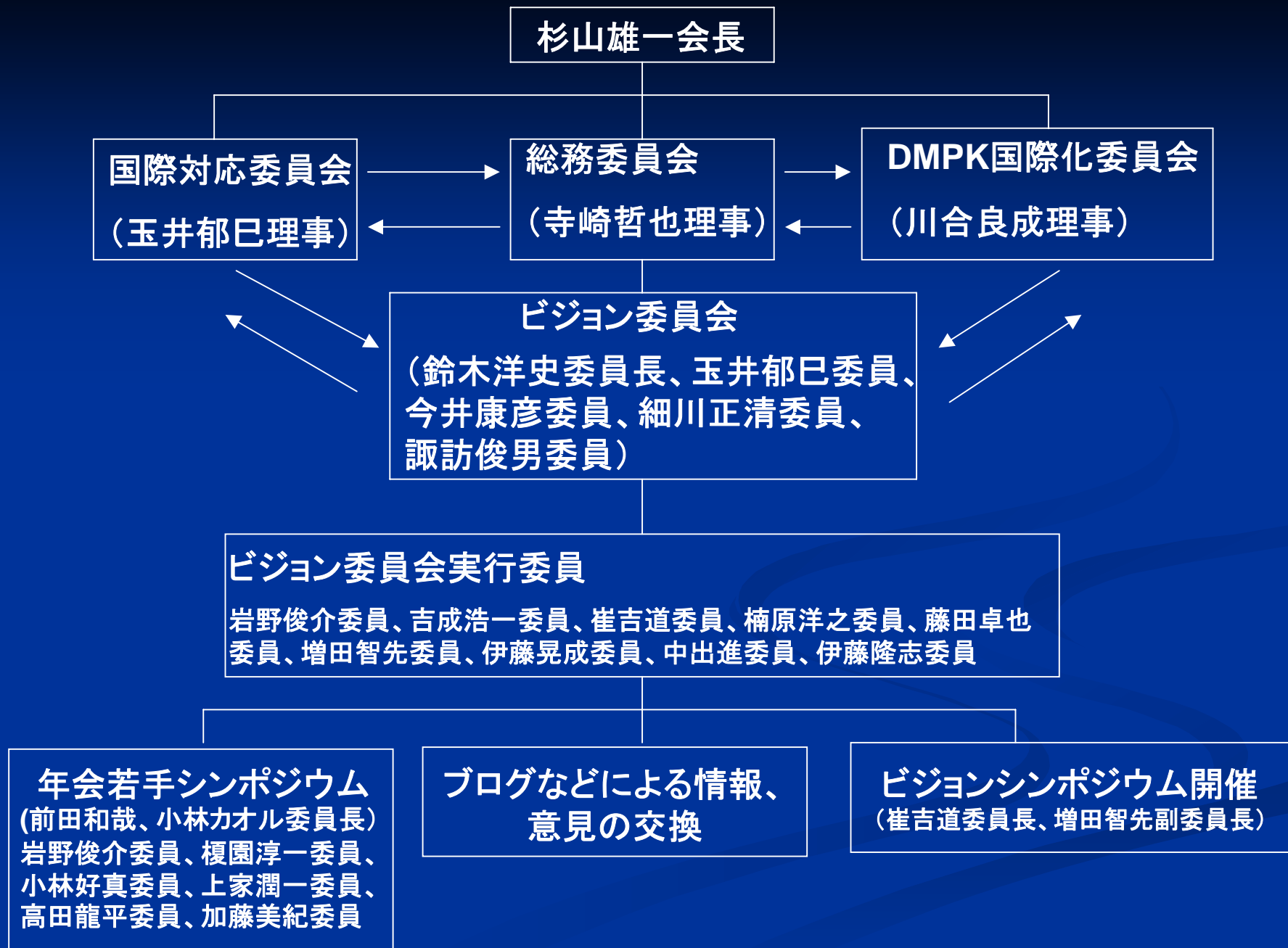
私は、鎌滝、辻の両会長が築いてこられた**グローバル化の道**を継続させていきたいと思っております。私がこの2年間、日本薬物動態学会 (JSSX) と国際薬物動態学会 (ISSX) の会長を兼任することは、グローバル化ということに対して好条件であると思っております。また、本会から時代の最先端を先取りし、世界の研究をリードできる**若い人材を多く輩出するための基盤**を作りたいと考えております。

学会のスムーズな運営、活性化などのためには、理事会、事務局（大塚事務局長、西澤さん）、編集委員会をはじめとする各種委員会、そして会員の皆さんとの間の相互交流がより活発になるシステム作りが必須であると思います。私は、これまで以上に理事会の活動を活性化させることにより、会員の皆さんにできるだけ多くのフィードバックができるような体制作りをしていく予定でおります。

会長メッセージー2

この実現のために、具体的には以下のことを考えている。

- 1) “ビジョン委員会”の設置ー若手研究者の積極的な関与
- 2) グローバリゼーション
- 3) Brain stormingをあちらこちらでやろう
- 4) 世界をアッとさせる研究を行おう



総務委員会

Governanceの変更

会長
理事
評議員

フェロー制度



委員長: 寺崎哲也
(東北大・大学院)



副委員長: 高野幹久
(広島大・大学院)



細谷健一
(富山医科薬科大)



湯浅博昭
(名古屋市立大・大学院)



荻原琢男
(高崎健康福祉大学)

ビジョン委員会



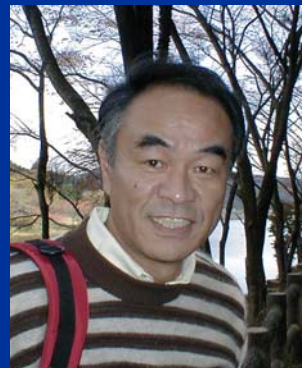
委員長: 鈴木洋史
(東京大・医・附属病院)



副委員長: 玉井郁巳
(東京理科大)



今井康彦
(アステラス製薬)



諏訪俊男
(共立薬科大)



細川正清
(千葉科学大)

- 第21回年会での若手研究者シンポジウム **蛋白発現・機能のダイナミズム～基礎研究と臨床・創薬との接点～**

前田和哉、

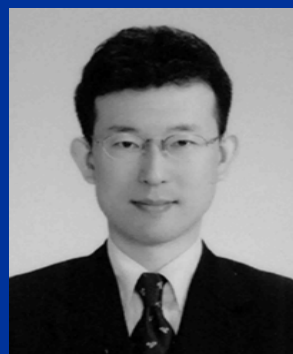


小林カオル



- 日本薬物動態学会 ビジョン・シンポジウム 『**薬効・毒性・動態 個人間変動の新機軸**』（2007年7月19, 20日）

崔 吉道



- JSSX President Initiative （2007年5月7日）
ブレイン・ストーミング 研究智を有する人材育成・自己実現への道

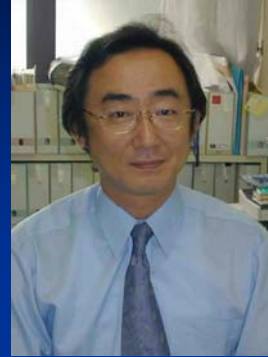
国際対応委員会



委員長:玉井郁巳
(東京理科大)



副委員長:川合良成
(ノバルティスファーマ)



家入一郎
(九州大・大学院)



崔 吉道
(共立薬科大)

APISSXとの緊密な交流

[年会時におけるジョイントシンポジウムなど]

Dr. C.K. Shim

Dr. J.D. Huang

ISSXらの学会、組織との積極的な交流

International Affairs Committee の設立(玉井)

DMPK国際化委員会との協同(川合)

ビジョン委員会との協同(鈴木)

編集委員会・DMPKベストアクセス賞を考える会



委員長:小田切優樹
(熊本大・大学院)



寺崎哲也
(東北大・大学院)



千葉 寛
(千葉大・大学院)

ベストダウンロード論文賞

ベストサイテーション論文賞

編集委員が選ぶ最優秀論文賞
(DMPK Editors' Award)

DMPK国際化委員会

委員長 :川合良成(ノバルティスファーマ)
副委員長:千葉雅人(万有製薬)

加藤将夫(金沢大学)
玉井郁巳(東京理科大学)
永田 清(東北大学大学院)
橋本征也(富山医科薬科大学大学院)
細川正清(千葉科学大学)

海外からの投稿の増加
海外編集委員の増加



編集委員会



委員長:千葉 寛
(千葉大・大学院)



池田敏彦
(三共)



小沢正吾
(国立衛研)



川合良成
(ノバルティスファーマ)



澤田康文
(東大・大学院)



須藤賢一
(第一製薬)



高野幹久
(広島大・大学院)



山崎浩史
(昭和薬科大)



山田英之
(九州大・大学院)



湯浅博昭
(名古屋市立大・大学院)

NL編集委員会

委員長:山崎浩史(昭和薬科大)

小澤正吾(国立衛研)

加藤基浩(中外製薬)

三浦慎一(三共)

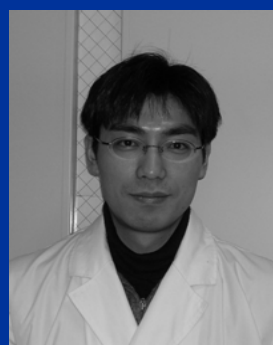


PubMed掲載
IF取得に向けて

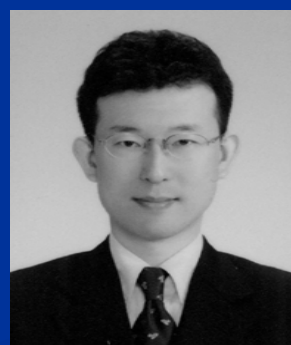
DMPK電子投稿WG



委員長:小沢正吾
(国立衛研)



伊藤晃成
(東京大・医・附属病院)



崔 吉道
(共立薬科大)



山崎浩史
(昭和薬科大)

その他の新しく始まった活動；

ショートコースの開始



ショートコース委員会委員長：
岩崎 一秀
(ファイザー製薬)

ホームページの改善



成松 鎮雄
(岡山大・大学院)

事務局



大塚事務局長



西澤JSSX担当

結論

- 1) 将来の研究ビジョンを持つ
(自分の意見、夢を語れるように)
- 2) これからの研究の大きな潮流を薬物動態学
発信で作りたい (会員との協奏が必要)
- 3) 他領域との積極的協力体制
- 4) Brain storming meetingの必要性
- 5) 新しい概念を外に向けて発信する表現力、
リーダーシップを持つ人材の養成
- 6) 国際的な人材の養成



杉山雄一



山添 康